

『報告書：ジュニアテニスマッチ練習会 デジタル OP（Miro）活用事例について』

[活用事例報告]

1月30日（土）、31日（日）、2月20日（土）、2月27日（土）に開催されたジュニアテニスマッチ練習会にて一般社団法人 ハイパフォーマンステニス研究所で製作されたMiroを活用し、運営を実施しました。本練習会では、新型コロナウイルス感染症対策の一環として『3密』を避ける大会運営を目的に、選手や保護者の方がQRコードもしくはURLからMiroにアクセスし、遠隔でOPを確認することのできるツールを活用することでOP前での『3密』を回避する手段として取り入れました。

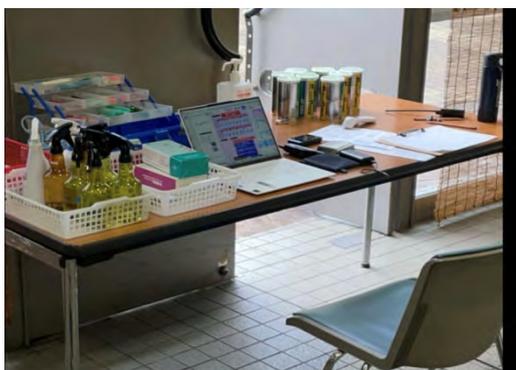
実際に運営に取り入れたことで、OP前で選手が混雑することはなくなり、本部での『3密』を回避することに成功するなどメリットの多い反面、課題点も多く見つかりました。

(Miro活用による現状のメリット)

- 本部でのOP閲覧時の『3密』回避
- 選手やスタッフの本部への往復に費やす移動時間の削減
- 結果報告や試合後に費やす作業時間の削減

(Miro活用による現状の課題点)

- Miroを操作する際、本部の人員が少ないとボールの受け渡しや選手対応で忙しくなり、OP操作に支障をきたす恐れのある点
- スマートフォンやタブレットを持っていない家庭、選手のみで参加している方にはMiroを活用できない点
- 会場にネット環境が整っていない場合、デジタル機器のバッテリー消耗や通信料の増加など、個人にかかる費用がかさむ点。



Miroを活用した本部での風景



Miroを登録するためのサイト